

人・農地プラン策定に向けた図面作成について紹介します

今回紹介する団体：川崎町，水土里ネットみやぎ

取組概要

内容：農家台帳の所有者・耕作者情報とアンケート結果を，水土里情報で整備した農地筆に取り込み，人・農地プランの策定に向けた地域の状況の地図化を行った。

経緯：①農家台帳とアンケートによって得られた現状を，地域での話し合いを通じて，今後の担い手・農地集積のあり方を進めて行くため，分かりやすい地図化が必要となった。

②アンケート結果や地域での話し合いの情報を，今後も効率的な管理や更新を図るため，水土里情報システムに取り込み図面を作成した。

現状把握



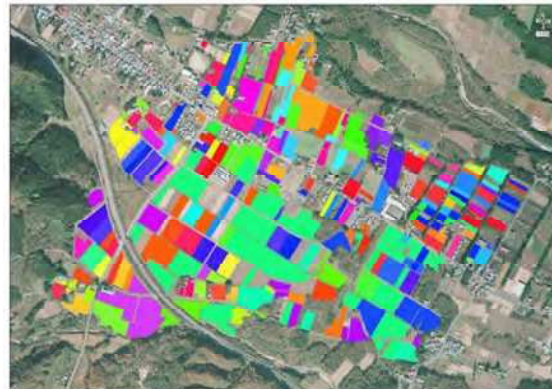
年齢分布



担い手の集積状況



後継者の有無



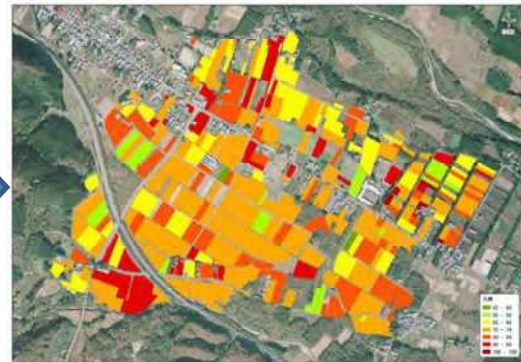
耕作者別の状況

取組による効果

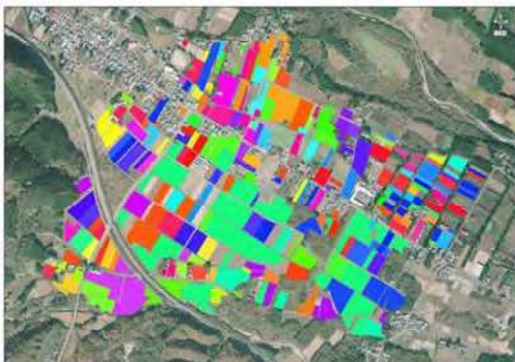
- ・アンケート結果が地図化されたことにより、地域でも共通した現状の把握ができる。これにより、地域での話し合い時間が従来の半分となり、全体で12時間の短縮が想定される。
- ・作成した図面を基に、地域の話し合いを通じて、人・農地プランが実質化され、将来の地域の姿の「見える化」が図れる。
- ・水土里情報システムを活用することで、情報の更新や予測ができる。



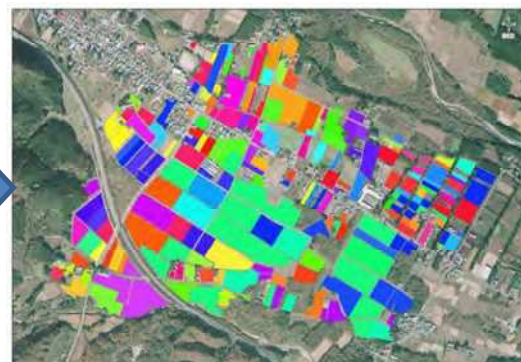
年齢分布(現在)



年齢分布(10年後)



耕作者別の状況(現状)



耕作者別の状況(集積予測)

今後の活用予定

人・農地プランの策定に向けた地図化によって、地域の現状を見える化することができるほか、市町村の担当者自らが情報の更新が行えるようになる。アンケート内容の汎用化を図り、他の市町村での活用を推進する。

GISシステムのバージョン情報

GISエンジン: GISApWeb(水土里情報システム)

■お問い合わせ先

宮城県土地改良事業団体連合会 技術部 農村整備一班 022-263-5817(直通)